

新春文芸

入選作品発表

「新春文芸」にたくさんご応募いただきありがとうございました。
審査の結果、次の作品が入選となりました。(入選者などの敬称は省略)
なお、すべての応募作品を載せた作品一覧表は各地区公民館でご覧いただけます。また、市ホームページにも掲載しています。

●問い合わせ 中央公民館(マナボーテ村上内) ☎53-2446

短歌

「新春雑詠」

阿部昌彦・選

特選

貴賤なく恵み賜る日輪を卒寿で拝む初日てふ今朝

板垣 刃雄

【選評】 卒寿の作者らしい重厚な表現、敬虔な姿が伝わって来る。

佳作

初茜鷺ヶ巣山の玉水を朱鷺色に染め海へと送る

鈴木 正芳

【選評】 三面の流れを「初茜」を主役とし清冽に、神秘的に詠んでいる。

海風げば岩場に海苔を摘む人のちらほら見ゆる初春の浜

佐藤 壯子

【選評】 風を逃さず岩海苔を摘む人の点在、地域性の確かな情緒が良い。

老人カー押して寄り合う短歌仲間些細な幸に歳重ねゆく

大滝 ミツ

【選評】 睦まじい情景に、しみじみとした人生への感慨が心に響いて来る。

太き梁頭を下に千匹の鮭は干されて初日を浴ぶる

萩原 智子

【選評】 壯観でもある鮭の隊列、今年も登場した村上ならではの一首になる。

俳句

「新春雑詠」

齋藤謙歩・選

特選

ペン胼胝も消えて八十層蘇に酔う

前川 有三

【選評】 指先のペン胼胝もいつか消え、元気な八十路、益々意気盛ん。

佳作

言の葉の力持みつ年賀状

加藤 博子

【選評】 今年も言葉を選んで、明るく上品に仕上げた。

意をこめて日頃の感謝初茶の湯

斉藤 ユリ子

【選評】 初茶会、年来の感謝の意をこめてのおもてなした。

方円の桶若水の閑かなり

秋山 悌義

【選評】 井戸端に置かれた方円の桶、清らかな若水が閑か。

朱の膳にまどう三代年迎う

稲垣 康子

【選評】 美しい朱のお膳に三世代が集う。お目出度い景だ。

川柳

「新春雑詠」

川村雄一・選

特選

勝利したアベノミクスで年が明け

松浦 昭一

【選評】 自・公与党の圧勝で、総理は快い美酒に酔ったことであろう。

佳作

初詣いくら上げたら御利益が

伴田 寛

【選評】 お賽銭の多寡ではなく、あなたのこれからの努力次第だと神は言う

ておられる。

消費税つけて欲しいなお年玉

菅原 誠二

【選評】 消費税も上がったことだし、お年玉も上げて欲しいと言う子供

の言

喉仏無事に通れよ雑煮餅

貝沼 ユキ

【選評】 餅を小さく刻んでゆつくり味わう雑煮餅。高齢化家族が迎えるお正

月風景である。

愛車にも二拝二拍手一拝を

本間 勝喜

【選評】 愛車にも注連縄を張り、一年のご苦労に感謝する。今どきのお正月の

一コマである。